

沙流川日高町富川地区水害タイムライン 第 1 回検討会

# 趣 意 説 明

平成29年7月21日

室蘭開発建設部

# タイムライン（事前防災行動計画）とは

## 《大規模災害時の防災対応における問題》

- 情報収集・伝達の不全
- 災害対応の準備不足
- 対応職員のマンパワー不足 など

## 《検討課題》

- 災害の危険がある地域の住民・自治体・防災関係機関が連携し、防災に関わる情報や人員・資機材等を融通しながら、地域全体で人命を守る対応を行う
- 災害が発生する可能性がある程度早い段階からわかり得る『風水害』『高潮災害』『遠地津波災害』などでは、各主体が早めに連携し、早めに防災対応を開始する

## 《タイムライン防災の特徴》

- 検討過程において地域の住民・自治体・関係機関が顔を合わせ、互いが持つ防災情報や防災対応の内容を共有し合うことができる。
- 主体同士の防災対応の内容・実施タイミング・支援方法などを一つの表で把握するとともに、自らの防災対応のチェックリストとして活用することができる。
- 早めの行動により、対応者の安全も確保しつつ十分なマンパワーのもとで防災対応をすることができる。

# タイムライン防災の位置付け

## 既存の計画を補完・強化するもの

|                                      |                                                                  |             |                                                              |
|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------|--------------------------------------------------------------|
| 発<br>災<br>前<br>(<br>警<br>戒<br>時<br>) | 既存計画                                                             | 発<br>災<br>後 | 既存計画                                                         |
|                                      | 市町村が関係機関の<br>防災情報を収集し、<br><u>主体的に分析・判断</u> を行って<br>住民の事前の安全確保を図る |             | 発生した災害事象に対して、<br>市町村や各関係機関が<br>それぞれ管轄する地域や施設、<br>住民への防災対応を図る |
|                                      | タイムラインで補完                                                        |             | タイムラインで補完                                                    |

## 多機関連携型タイムライン



